

## 令和3年度第2回洞爺湖町学校給食センターに係る検討委員会（議事録）

日 時：令和3年8月25日 水曜日 午後6時27分～午後8時20分

場 所：洞爺湖町役場3階 防災研修ホール

出席委員：虻田小学校校長 小野島 晶、洞爺湖温泉小学校校長 柿崎 秀顕

洞爺中学校校長 菅林 秀樹、虻田小学校PTA会長 葛 和佳、

とうや小学校PTA会長 寺嶋 政明、洞爺湖温泉小学校PTA会長 鈴木 勝  
伍、洞爺中学校PTA会長 村上 友和、本町5区自治会長 石川 諭、

成香自治会長 小山 一典、公募委員 矢野 克典

欠席委員：虻田中学校PTA会長 福島 正和

教育委員会（事務局）：皆見亨教育長、末永弘幸所長、青葉文夫主査、森糸麻衣子主任、天  
野英樹主査、佐藤正施設管理員、藤田早苗栄養教諭、佐藤のどか栄養教諭

午後6時27分開会

### ○委員長

定刻より早いですが、皆さんお集まりのようですので、検討委員会を開催させて頂く。

それでは、議事（1）洞爺湖町学校給食センターに係る検討委員会の会議開催における  
傍聴について、事務局より説明をお願いします。

### ○事務局

議事（1）洞爺湖町学校給食センターに係る検討委員会の傍聴について（議案書2p、  
別紙資料1）説明

### ○委員長

傍聴について意見があったという事で事務局の方から説明がありました。何か意見は  
ありますか。なければ検討委員会の傍聴について、感染予防の観点から先着10名に人  
数制限をし、傍聴を認める事とする。本日は傍聴者の申し込みはありましたか。

### ○事務局

今現在おりません。

### ○委員長

では、そのまま続けます。それでは議事（2）洞爺湖町学校給食センターに係る検討  
委員会の会議録の公開について、事務局より説明をお願いします。

### ○事務局

議事（2）洞爺湖町学校給食センターに係る検討委員会の会議録の公開について（議  
案書2p）説明

1. 要点として纏めたものを公開

2. 公表は洞爺湖町ホームページに掲載

引き続き委員の皆さん方の協議をいただきたい。

## ○委員長

会議録の公開について事務局より説明があった。要点記録として公開となるが如何か。

(委員)

(うなずく委員、複数あり。)

それでは異議なしという事で進めたいと思います。それでは議事（3）前回会議において委員から提出を求められた追加資料等についてお願ひします。

## ○事務局

議事の（3）前回会議において委員から提出を求められた追加資料等について（議案書2p～3p、別紙資料2～11）説明

議案書①有珠山噴火（山頂噴火、山麓噴火）の危険区域予測図、津波浸水想定区域図、土砂災害危険個所図について（※資料に沿い説明。）

別紙資料2 防災ガイドブック

別紙資料3 有珠山噴火災害に係る山頂噴火並びに山麓噴火の危険予想図に関する資料

※山頂噴火及び山麓噴火の影響について、現在の虻田給食センターは火砕サージに襲われる可能性のある区域となっている、

別紙資料4 洞爺湖町津波ハザードマップ

別紙資料5 主要な公共施設の海拔一覧表

※津波による災害については、虻田給食センターは海拔7メートル以上にあり影響は受けにくい。

別紙資料6 北海道土砂災害警戒情報システム

※虻田給食センターは警戒区域外。洞爺給食センターについても同様に警戒区域外。

噴火、津波、土砂災害三点について影響を受けているのが虻田給食センターの噴火による災害が考えられる。

議案書② 町有地の確認について

別紙資料7 給食センターを新築した場合活用できる町有地の確認。

※新築した場合、津波、噴火、土砂災害の影響を受けない区域外で安全性が確保されていて、給食センター用地として使用可能と思われる町有地の状況。

旧洞爺保育所、旧洞爺高校寮跡地が確保できる場所ではあるが、河川敷地については、建物は建てられない。

議案書③ 近年、改築された他市町給食センターの状況について

別紙資料8 伊達市の状況

別紙資料9 厚沢部町の状況

※両市町建設費、維持管理等の状況、建設において配慮した事項、改築した際のメリット・デメリット等の説明

議案書④ 新築案及び改築案（虻田給食センター、洞爺給食センター）の主な内容及び概算経費並びに期待される運営経費の削減効果やメリット・デメリット等について  
別紙資料 10

(1) 新築案及び改築案（虻田給食センター、洞爺給食センター）の主な内容及び概算経費

新築について 895 m<sup>2</sup>程度。新衛生基準に適合した施設、アレルギー食対応設備等。

工事費概算 8 億 4 千万円程度、基本・実施設計、外構工事費、既存施設解体は含まず。

虻田給食センター改修案について、車庫の増設、新衛生基準に適合した間仕切りや自動ドア等の設置、アレルギー食対応室の整備、厨房機器の更新、備品購入、配達車 1 台更新が考えられる。工事費の概算 7 千 8 百万円程度。新築案と同様設計費等は含まない。

洞爺給食センターの改修案について、増築 50 m<sup>2</sup>程度想定。既に新衛生基準対応施設となっている。厨房機器増設（回転釜、食器消毒保管庫等）配達車 1 台更新。工事費は 2 億 8 百万円程度、同様に設計費等は含まない。

(2) 期待される運営経費の削減効果（見込）やメリット・デメリット等について

運営方式はこれまでと同様直営。委託とした場合、職員への指導が行き渡らない、委託費用が嵩む。調理はこれまでと同様直営とし、給食配送についてもこれまでと同様町内業者への委託を継続。主食である米飯は自炊方式とする。

施設を統合した場合の維持管理費の概算と削減効果は報酬 231 万 5 千円程度削減。需用費について現行予算の 2 割程度の見込み 227 万 1 千円程度削減。

給食の配送委託料については現在の 1 系統から 2 系統となるため 141 万 4 千円程度増加が見込まれる。トータルで統合した場合の削減効果は 442 万 2 千円程度が見込まれる。この経費については大まかな試算になるが、新築案においても 2 施設が 1 施設になるので同程度の削減効果が見込まれる。

メリット・デメリットについて、1 施設になる事で運営経費面で報酬や需用費の大きな削減が見込まれる。アレルギー対応の給食提供ができる。現在のアレルギー対応は、牛乳代替で麦茶の提供や他の児童生徒と同様に調理した後アレルギー対応のものを除去して提供。これを改めてアレルギー食としてアレルギー対応の子どもだけの給食を提供する事ができる。今対象の子どもについて洞爺給食センター 6 名、虻田給食センター 7 名計 13 名対応。虻田給食センターの米飯を委託から自炊に変更する事により、主食の自由度が増す。施設の衛生環境が向上する。

デメリットについて、現在の虻田給食センターは有珠山の山頂・山麓噴火の危険予測図における火碎サージに襲われる可能性がある。栄養教諭の配置が基準により 1 名となる。洞爺給食センターで実施している行事食「お花見弁当」「もみじ弁当」の

提供ができなくなる可能性が高い。現在弁当容器に手作業で詰めているため、人数が多くなった場合に対応が困難。

議案書⑤ 令和3年度の標準的な配送及び給食の時間並びに改築案における想定される配送及び給食時間

#### 別紙資料 1 1

虻田給食センターで最大40分。洞爺給食センターは10分で終えている。

虻田給食センターを改築して1ヶ所とした場合には、1号車について虻田給食センターを11時5分に出ると想定して虻小・虻中・虻高に行き配送最大40分。2号車については温小・とうや小学校・洞爺中学校を配送した場合、虻田給食センターを1時10分出発、それぞれに配送を終え最大40分。学校衛生管理基準で定める調理後2時間以内の配送が可能。

洞爺給食センター改築案では1号車については洞爺給食センターを出て虻田小学校・虻田中学校・虻田高校をそれぞれ配送、最大45分かかる。2号車については温泉小学校・とうや小学校・洞爺中学校それぞれ配送、洞爺給食センターを10時55分に出たら洞爺中学校へ11時50分に着くという事で最大で55分かかる。これについても学校衛生管理基準で定める時間内で配送を終える。

以上が第1回検討委員会における委員の皆さんからご質問のあった内容の回答となる。

#### ○委員長

ここまでが資料の説明となります。それぞれ整理いただきたいと思います。まず議案の①番、有珠山噴火の予想図ガイドマップ等々の資料でご意見感想等、何かありますか。

#### ○委員長

これを見て分かったんですが土砂災害は温泉小が危ないんだなど、全て安全だと思っていたんだけど。噴火については本当に予想できない部分はありますよね。僕はたまたま高校の時に昭和の噴火があって、当時の地元は伊達の閑内だったんで経験したんですけど。

2000年の噴火は日高管内にいたんですが、まさか虻田側が噴火するなんて想像もしてなかったんですが、次も同じようなところであるとは限らないんでどうなんだろうという。

たまたま温泉小学校なんでそういうこと当然話題になるんで話してるんですが、ひょっとしたら湖から噴火する可能性だってあるんですってね。どこもかしこも危険な位置なんだなとは思っていました。何かありますか？また後で何かあったらお願ひします。

#### ○委員長

町有地の確認について資料7ですか。それでは近年改築された他市町給食センターについて、伊達市と厚沢部町と。規模としては厚沢部町に行った事あるんですが、学校規模も含めてうちの町に近いのはやっぱり厚沢部町の方を考えていいくと思うんですね。

○事務局

ただ対応総食数が 1000 食に対して実際の 1 日あたりの提供数が 320 食って、これって 1/3 くらいの使用しかしていないというので、当初どういう計画だったのかなと。確認したいところではありますね。

○委員

数で言つたら、ここの給食、伊達で作ってもらっても間に合う学校の人数だね。

○事務局

人数だけで言えばそうですね。

○委員

計算上のことなんでしょうけど。

○委員長

それでは資料 10、新築改築案、これについてどうですか。新築となるとどこに建てるかは別ですが、8 億もかかるんですね。すごいもんですね。

○委員

衛生的にも新衛生適合基準って何。これって虻田の方は適合してないの。

○事務局

建築年の関係で、虻田と洞爺給食センターというのは、洞爺は 2000 年に建てた建物なのでその時にはもう新衛生基準というのが定められているんで、それで建てていますので洞爺は今の新衛生基準に適合しています。虻田は 57 年の建物で、まだそこまで衛生基準というのが細かく指導がない時期の建物という事で、汚染区域・非汚染区域って大まかに 2 つに分けるんですが、それをまず完全に仕切りなさいよというのが今の基準です。それをまず虻田の給食センターを改築するのであれば、そこをいちばんに考えなきゃいけない。洞爺の場合はもう適合しているので、その部分は省けますよと。新築の場合は、しっかりと対応しなければならないという内容です。

○委員

それであれば虻田給食センターを改築しないで、そのまま使っていく場合にはそれでもやんなきゃいけないの。

○事務局

それは保健所とこれから相談になりますが、多分、町財政とか諸々の事もありますので今現在の部分では、直しなさいという指導はありません。それでも、もしも 1 つにする場合には極力そこは改築して下さいという指導が来るかもしれません。でもそのまま使っていいと言われるかもしれませんし、その辺は以前保健所の方に聞いた時にはどうなんでしょうねという話は 1 回した事ありますが、その時は極力フロアは 2 つに分けるのは望ましいという物言いで終わってます。しなさい、というその命令口調の言い方ではありません。

○委員

今保健所忙しいからね。

○委員

こんな話は今までこういう形の議論されてはいなかったと思うんだけど、今まで学校給食センターがその運用をしていたっていうのは何かあったんですか。その辺がちょっと分からぬ。今回だったらもう数の論理で言ったら洞爺を閉めちゃって一緒にやれば、早くからやろうと思ったらできた筈なんんですけど。まあ反対があったとかなんとかあつたのかその辺が過去の経緯がちょっと分かんないので。

○事務局

1回目の会議ですね、検討委員会を立ち上げるうえで必要性という事で何点か書いたと思うんですけど、1点目は町村合併当時に2つありますから新町に引き継いで1つになるよう検討しましょうという事ではあったんですが、その後ですね、給食運営委員会とかそういったところでちょっと話をした時に洞爺地区の方から反対があったみたいで当時はまだ私は教育委員会にいませんが、反対があってなかなか正式な議題としてあげる事ができなかつたというような状況が続いたという事で15年経っていますけどそういう事が続いたんで、なかなか議題にはならなかつたんですけど。ただ今もうその状況から15年も経って行革の委員会とか、その他のどこからもかなり言われてございますので、もうそろそろしっかり検討しなければいけないというような事で、今回しっかりと話はしていこうという事で今この場になっているという状況でございます。

○委員長

当時のその合併当時は洞爺地区の、もっと子どもいたんですかね。高校もあったという事なんですが。

○事務局

当時、約1000食両方合計でありましたので。

○委員長

そうなんですか、まあその当時と今の状況じゃだいぶ変わってるんで状況は分かったかなあという風に思います。

○委員

合併当時はやっぱりおらの町がおらの町がっていうのが当然ありますから、そうはいかななかつたんだと思います。

○委員

合併当時のあの合併協議会で、合併してこの問題については新町に引き継ぐっていう問題は、それで終わってる問題は沢山あったんだよ。どうしようこうしようって結論付けないでね。

○委員長

僕も前に鵡川町にいたことがあって。穂別と鵡川が合併して、穂別と鵡川が接している地域に小学校が2つあってそこは統合してなかつたんですが、当時は統合してなくて

も上手くいってたんですが最終的には両方閉校にして、そこ1つにするという案は全く消えてしまったという。最後の、僕が穂別側の学校閉校するってなった時7名でしたね。200人くらいいた時もあったりしたんですけども。それは極端ですけど、今確認したいのはちょっと合併当時の状況とは変わって、あと給食センターも経年劣化ったら変ですか、古くなってるという事でまた復活してる、と押さえよろしいですか。

○委員

なんかこれ、どうしてもどっちかに決まった後の話で、決まった時にはこうなりますよっていう事ですよね。

○事務局

どういうパターンになろうとも、基準で定められている2時間以内の範囲であるという事は、これでお分かりになるかなという風には思います。

○委員

時間の件について私今この緊急事態宣言という事があって、コロナで給食の配膳がなかなか出来ないという事でたまに私が給食の準備手伝ったりする事があるんですよ。配膳の手伝いする事があるんですけど、うちの学校の給食はとにかく温食熱いです。これ見たら5分でうちの学校に来てるんですよね。で、これがもし虻田の給食センターに統合してなった場合には、洞爺中学校に40分かかると。今度は逆に洞爺に給食センターができた時とか1つになった場合に、逆に例えば虻中に行くのに35分かかるということで、やはり前回も話しましたがぜひ時間的な部分ですごく大きいと思うので、長く時間がかかるところには食器の保温の物をもっと高めるとかそういうのをしてあげればすごく良い。

いずれどちらが統合するとかどうなるとしても、やはりそういうところを考慮していただければいいかなと今これを見て思いました。

○委員長

ちなみに虻田給食センターからのいちばん遠くにいる温泉小としては、めっちゃ熱いです。

本当に昔のイメージじゃないです。昔の給食って何これ一みたいなのがあったと思うんですけど、今は全然違います。

○事務局

給食センターで使ってる米飯の容器っていうのはホレコンというのを使ってます。普通あの容器だけで入れて運んでいいんですが、あえてアルミ缶に入れて外にホレコンという、なおかつ二重の状態で運んでるので温度が冷めずらいです。以前、虻田地区に限っては温食缶の方がアルミの一重缶で非常に温度が下がりやすく劣化してるのを使ってたんで、それで保護者の方からも冷めてるという意見をいただきまして、前年度、二重食缶のシャトルドラムというのを、一応メーカーの試験で80℃の物を入れて2時間後に5℃程度しか温度が下がらないよ、という温食缶の容器で今虻田地区も運ばさせていた

だいてるので以前よりはかなり給食の温かいものは提供できるように自負はしてるんですが。いかがでしょう。

○委員

今からどういう結論がでるにしても、そういう部分って、すごくしっかりと説明できれば親御さんに説明するにも違うと思うので、是非その長くかかる所にもいろんな風にこういう配慮ができますよというのがあれば良いかなと。

○事務局

今いろいろと運ぶ物が食缶関係でも非常に性能のいい物も毎年、毎年良いのが出てきますので、そういうのもいろいろと見ながら、またメーカーの方からもサンプルいただくなり使わせていただくという方法もあるかと思いますので検討させていただきます。

○委員長

これ参考になるか分かんないですけど、うちの学校の職員室の給食は全部が食べ始めるのを待って管理職が食べ始めるようにしてます。だから温食の缶を開けてから少なくとも4～50分は経ってると思うんですよね。それでも熱いですから、大丈夫じゃないかなという気はしております。

○委員長

ここまで、全体を通して何かありますか。なかつたら洞爺湖町学校給食センターの今後の方向性に対する洞爺地区住民との意見交換会（情報交換会）の内容についてお願いします。

○事務局

議題（4）の洞爺湖町学校給食センターの今後の方向性に関する洞爺地区住民との意見交換会（情報交換会）の内容について、先日8月11日に総合センターにおきまして、洞爺湖町の学校給食センターの今後の方向性に対する意見交換会が行われてございまして、これは教育長と私と担当主査の3名出席をさせていただきまして意見交換会の場の中で、洞爺地区の保護者の方が疑問に思ってる事について対応させていただいてございます。

その内容が別紙資料12で出された意見をまとめてございますけれども、学校給食センター検討委員会設置に関する洞爺地区保護者の集いで出された意見になりますけれども、全部で11あります。

1. 検討委員会での議事録の公開について、情報が少なすぎる・検討委員会が立ち上がり今後の方向性を検討をしている事も知らなかった。今後の会議録の公開を望む、難しいのであれば概要をホームページにアップする等検討をお願いしたい。これは冒頭で検討委員会の傍聴や議事録の関係を皆様にご了解頂きましたので、そういった対応にさせていただきます。

2. 子どもたちにアンケートを取ってみてはどうかという事で、この度の件に関して子どもたちにアンケート等を取って、どういう風に考えているのかアンケートで纏めて

みてはどうか。美味しいという事は分かっているが、毎日食べている子どもたちの意見も併せて検討していただきたい。

3. 子どもたちに安心安全な学校給食の提供を望むという事で、子どもたちに温かい優しい給食を。そこを一番に考えていただけたら嬉しい。という意見が出されています。
4. 地元の食材を使った給食を継続して欲しい。洞爺の給食は地元の食材・野菜を使つており、誰が作っているかなど生産者の顔が分かるという事で地域と繋がりが、もし合併しても残してもらいたい。
5. 今の食育教育。テーブルマナー等継続してほしい。洞爺は食育教育が進んでいる。施設が1つになったら継続は難しくなるのではないか。また行事食も減るのではないか。続けてもらいたい。
6. 洞爺地区での情報公開を他の地域でも望む。保護者はこの度の統合を含めた今後の方向性についてどの地域でも聞きたいと思っている。もし問い合わせがあれば洞爺地区と同じ方法を取っていただきたい。
7. 今そのまま2つの施設で運営しておけば、万が一の災害時にも心配がないのではないか。虻田給食センターが老朽化しているのであれば虻田の給食センターだけを改修し、洞爺はこれまで通りの運営をとする事により、万が一の災害にどちらかが駄目になつても安定した給食の提供ができるのではないか。
8. 給食残渣を限りなくゼロに近付けていく事が大切。近隣他市町村で多いところでは10%近くに対し、洞爺給食センターでは殆ど無し、虻田給食センターについても多くて5%程度。仮に統合したとしても限りなくゼロに近付けていく事が大事ではないか。
9. 仮に合併したとしても両方のよいところを取り入れてほしい。合併する事は合理的で決して悪い事ではない。施設を改修したり設備を入れ替えたりする事で機能も良くなり導線も確保されている事により、良い事がいっぱいある。子どもたちが美味しいね、楽しいねと言ってもらえる事が大切。合併してもしなくとも、双方のよいところを取り入れて話が進んでいけば有り難い。
10. 子どもファーストで話を進めてほしい。洞爺の給食は美味しいに加えテーブルマナーや食に関するいろいろな知識を教えてくれる。
11. ハード面でもそうだがソフト面でも議論を望む。建物をどうするか、改築か新築かも大事な事だが、ソフト面の中身がもう少し細かく一覧で取り上げて、仮に統合・改築するにしてもどういう影響をするのか、無くなるのか、一部取り入れられるのか、継続できるのか、それぞれの項目を検討する検討委員会であつてほしい。仮に一緒になるにしても虻田地区の方々の意見もあることから、それぞれの項目の意見をすり合わせ、できること、変わることをしっかり整備して結論を出し伝えていただきたい。

## ○事務局

1については、先程ご了解をいただいて進めるという事になりますが、2について実

際どういったアンケートを、具体的にどういったアンケートを想定の意見なのか事務局では中身まで確認が取れていない状況。そこで提案した方に次回第3回の検討委員会において、改めてどういった内容のアンケートなのかをまずご報告させていただき、皆さん集まっていたらこの検討委員会の中でアンケートを行うのか、そうではなく例えば各小中学校单位でアンケートを行って、各検討委員の皆様から結果の報告を受けるのか、またアンケートをする必要はないと検討委員会の方で判断して引き続き検討委員会において検討するのか、この辺が事務局としてはどういう進め方がいいか考えていたところ。

意見は以上ですが、2について委員の皆さんからご意見をいただいて、どういう方法がいいのか確認をしていただけたら有り難い。

#### ○委員

まずアンケートで何をアンケートするのか。子どもたちに美味しいとか美味しいとか、でもこの検討委員会では建物をどうするか、1つにするかという事なんで趣旨がちょっと違うじゃないかという気がする。美味しいかどうか、他にも食育の教育とか美味しいという事を書いてあるけれど、それは後から実際に先生方が食べたり、子どもたちが食べたり、親御さんがそれを聞いてというような後の話。これからは継続の話ですね。ですから美味しいものを作っていただきたいというのはこの後の話なんで、今回の検討委員会ではちょっと質が違うのではないかという風に思います。方向性はこういう風なものにしようというのは検討委員会で作成はできると思うが、その後のものについては実際に先生方や子どもたちにアンケートを取って1年に1回とか2回とか、そういう風に進めていかないと答えが出てこないんじゃないかなという風に思います。

#### ○委員長

本当に意見的になるが、洞爺の給食が美味しいというのはキーワードですけど、僕は多分その洞爺の給食が美味しいというのは先生方が最初言ったんじゃないかな。というのはそこしか知らないですから。子供たちも保護者も。他と比べて美味しいというしたら、やっぱりそれは他を知ってる先生方になるのかと思ったり。たまたま鵡川町で僕がいた時に給食を初めて始めたんです。念願の給食センターが出来て、それが出来た時アンケートを取ったんです。子ども達が自由記述だったんだけど、殆どの子が給食毎日食べられて美味しかったです、だけなんですね。それが慣れてきて次にこんなものが食べたいというような意見が出てくれば精々であって、この検討委員会で諮られる、判断できるような内容というのは子ども達からなかなか出てこないんじゃないかなと思っています。

#### ○委員

前回ちらっと洞爺中学校の給食がおいしいという話をしたと思うんですけど、それはやっぱり食べて美味しいと思った、この前ちょっと話できなかつた事があって、実を言うと私が昔大滝の教育委員会で働いていた事があって、その時に大滝の給食がすごく美

味しかったんですよね。その時の栄養教諭が□□さんだったんですよね。よく□□さんのところで一緒に働いてきた時に大滝の給食美味しいですよねって話をした時に、洞爺の給食も美味しいんだよって言いながらそういう話もしていて、もしその美味しいって事に関して言えば洞爺の給食は正直言っていろんな学校を経験してきて美味しいと感じてはいるんですけど、やはり私たち委員としても虻田の給食、虻田と洞爺の給食も試食するような機会があればいいなということがあります。

○委員長

私も子ども達ファーストで進めるのは大事だと思っています。検討委員の私達も給食を食べる機会があれば虻田もいいんじゃないかな、そういう意味で9番の最後のところに、双方のよいところを取り入れて話が進んでいけば有り難い、ここに尽きると思うんですね。

1つであろうと2つであろうと何処に作ろうと、やっぱり洞爺地区の子・虻田地区の子ではなしに、洞爺湖町の子なんだからみんな公平に、美味しいものを安全なものを食べてるような環境を作るという事が今回の一一番の目的なんじゃないかと思います。

○委員

今この話を聞いていて、私も8月11日の意見交換会に参加させてもらって、意見交換の内容は資料の通りで、言われたとおり洞爺の伝統である食育、地元食材を使って作っている人の顔が見える食材とか特色ある給食を作つてほしいというような意見が出されていて、私も第1回の時に発言したような内容が出てたんですね。経済的な事についてとか施設の関係とかセンターの場所とかまだ見えない中で、このような場所を企画するというのは、多分今までの給食が大幅に変わってしまうという不安がすごく保護者の内で広がっているという風に感じました。僕も久しぶりに親が自発的にこのような会を開くというのを体験したので、余程不安があったのかなという風に思いました。その不安の元となっているのが、洞爺が今まで独自にやってきた食育や行事食は少人数だからある程度自由にできた。それがもし統合になつたら難しいんじゃないかなというような意見が出て、小さいところ、数が少ないところの意見が埋もれてしまうんじやないかなという不安が洞爺の保護者の中で見えたのかなという風に感じました。食育ですかマナーとか、そういったものは違うなと僕自身も考えていて、親の食事があって更に給食があつて食育ってのあると思って、学校だけじゃなく親の役割でもあるのだから、率先してPTAとか地域がそういう事をしていくなくてはならない。だから全部が全部、教育委員会や給食センターでできるわけではないと感じた部分はあるんですけど、それでもやっぱり親の目の届かないところで、子ども達と一緒に食べる給食というのは、すごく子ども達を成長させてくれるひとつの部分だと思いますので、ぜひ子ども達と保護者の意見を今後の検討委員会で、先程アンケートの題材とともにこの場で検討すべき事なのかちょっと分からぬ部分もあるんですが、是非、保護者の思つていう部分も検討に関して入れていただきたいなど。第1回の繰り返しになるが、地元の産品をなるだけ

効率的に集荷できるシステムとかそういう部分についても、検討材料としてあげていただけれど感じております。

○委員長

このアンケートでいうと、そういうのは大事な部分であると思いますね、本当にここは大事な部分だと、その時間を充分確保していかなければならぬなど、その上でどうするかという事を話し合わなければならぬと、そのような考え方でよろしいですか。

○委員

食育教育に関しては、洞爺の食育教育が、分からぬんですけど、どうやって実際やっているんでしょうか。

○委員

私、配膳よくやってて分かるんですけど、今まで給食やってて洞爺の場合は牛乳は右の方とかフォークは左右ちゃんととか、主食はこことか配膳に時間がかかるという難点はあるんですけど、あれはやっぱり少人数での良さではあるとは思うんですけど、そういうのはすごくちゃんと肉料理なんかでもナイフとかフォークとかあるんですね。後は実際にはそういうもんだという形で、後は授業の中でというか給食の中で養護教諭が説明したりする部分はありますけど、食べ方と言いますかマナーとかそういうのをうちの学校はしています。

○委員

それはね、レストランなんかでは必ずフォークとか決まっているんですよね。そういったものは、テーブルマナーとか食育が進んでいるとか、いったいどういった感じでご両親がやってるのかなって、一番の問題は、保護者が1つになって変わらんじやないかと、そういう疑問や不安が大きいんだと思います。それがやっぱり抵抗になっているという事に私は感じたんで、その不安を無くしてあげれば、それ程抵抗ないんじゃないかなと思いますけど。今回傍聴の件に関して、そういう事は知らなかつたという事が出てきたけど、子ども達に食べさせるものを勝手に決めるなみたいな、そういう不安が親御さんがあったから反対という形で、ちょっと形は違うけど後ろ向きな形で、抵抗が出てるんじゃないかなと私は思います。

○委員

さっき配膳の時間という話もしましたけど、最終的にどうなるか分かりませんが、やっぱりお互いの良いところを上手く生かして、現状の課題もある訳ですから、それを克服するために今こういう会議をやっただけなんで、その中でもし決まった段階ではお互い良い良いところを取り入れながら、安心安全な給食を提供するという目標をできるように持つていけるようにする事で、説明責任にするしかないのかなと思つたりするんですけど。

○委員長

そうですね。方向性が先程も言いましたけど、どこに作るとかだけじゃなくて、子ど

も達の事を考えつつやっていく。そういう上で試食会は本当にやれたらやりたいなと。

○委員

これ、双方保護者の方々の、この内容について通達があって、ある程度の理解をされているんですか。こう言う意見が出てくるって事は、情報が乏しすぎて検討委員会の情報よりも行政側から施設について、こうこうこうで何年後にこういう計画を持ってますよっていうような情報的なものを流れてないような感じ。10番目にソフト的なところっていうのは、建ててからでも双方の保護者が食べてみたりして改善は出来るものですね。

私がPTAやってた頃は、試食会は必ずあったはずなんですね。そういうものを繰り返していくば、建物が出来た後も料理の内容については、改善しようと思えばできると思うんですよね。

○委員長

そうですね。建てる前に確認しなきゃならない事があるけれども、建ててから改善できるものはいろいろあると。

○委員

今、このデメリットって出る部分、その部分を少しでも減らさなきゃならないですね。洞爺のお花見だとかもみじ弁当だとかって、これもしかして続けるとしたらどういう中身にすれば、建物のあれはこうすればできるのかとか、何とか続けたい。さっきのナイフとフォークもそうですけど、多分、虻田給食センターでは出してないんじょ。

○事務局

出してないです。

○委員

そういうものが、それぞれあった方がいいものであれば、同じセンターで増築・新築・改築そういう風に持つていけるような形に少しでも近付けないといけないのかなと思うし、そうしないと、やっぱり無くなっちゃうってのは。無くすのは簡単。止めちゃえばいいんだから。でも、ある程度洞爺の人達、みんな良いというのであれば、あるからいいと言うんであれば、やっぱり続けるような方策っていうのは全体として考えていった方がいいのではないか。

○委員長

次回は10月、12月、これまで報告が多かったんですけど今度はやはり、どういう事は絶対入れていきたいとか、そういうようなところを話し合うというか詰めていくというか、意見交換していくのが大事になっていくんですね。結論みたいなのをちょっと言ってしまったんですが、事務局の方どうですか。

○委員

資料で、子どもの人数が平成9年までの人数なんだけど、もうちょっと先まで出せな

いか。

○事務局

出生数からカウントしてるので難しい。

○委員長

これから、どれだけ産まれるかっていうか。

○委員

人数がもっとどんどん減っていくのかなと、不安に感じる部分もあって。だから、もうちょっと減るまで待っていたら、統合するとあんまり大きなものでなくてもいいかもしない。1つのものを作るとした時に。

○委員

学校給食センターに係る検討委員会という名称が付いているんですけど、今2つあるのをずっと続けていっても、そのうち疲弊して効率的にも悪くなるならないうちに考えなさいよって集められたのがこの会議かなと最初思ったんですけど、施設の統合とかいろいろ方策を練ってきたんですけど、ここへ来てそれを聞いた保護者が給食の味とか食育とかそういう話も出てきたんですけど、そこと一緒にするべきなのか、それはそれで別に分けて考えていくべきなのはっきりした方が良いような気がするんですよね。この名称から感じるのは親御さんがこの名称を聞いたら全部決められてしまうんじゃないかなと思ってしまうんだけど。言い方は悪いんですが統合とかに向けた検討委員会となってなつたら、ああそういう事ねと思うんだけど、そういった部分ってどう分けて考えるのか、それとも一緒に同時進行で、こうなかなか期間が無い中で。

○委員長

そういう切り口は当然ある。皆さん、意見を言ってくださったんですが、統合するという前提で話をするのか、そのまでいくという話になるのかで全然中身が違ってくると思うんですけど。だからアンケートなんかを手厚くするのかとかを注視して考えて、それか双方の大変な部分を、中身からいくのか外を決めて中をやるのかの違いではあるはあると思うんだけど、どうですか皆さん。逆に、統合を前提に話をしますか。それとも、今までの流れを見ると中身をどんな事は大事だと確認してから、じゃあ統合するかって話になるのかなとは思ってたんですけど。確かに両方平行しながら毎回その話が出ると、結論が出ないで終わるのが現状だなとは思うんですけど。

○委員

僕はもう少し先が見えれば、今ちょっと子どもがいるんですけど。やがて遠からずとも統合かなという思いがあったり、それくらいまで2つで維持していって、他の動向を見て場所をしっかり線引きをする。その時に、金銭的にまた同じようにかかっていくというのはあるでしょうけど、それが無理だったら洞爺がやっぱり、洞爺は無くしたくなはないあって、そういう思いがあるんですけど。いろんなものがどんどん高校から始まって無くなっているから。役場の職員なんかも転出してどんどん減っ

ているものですからそういう部分を含めて言うと何とか洞爺給食センターくらいは維持して、災害にも強いだろうし温食っていうんですか冷める心配がさほど無い時間的な問題もないような話もしてたんで、可能だったら統合、新しくするんだったら出来たら洞爺に、改築でも良いから何とか洞爺で見てほしいなと。でも、当分の間はまだ2つ維持してもいいんじゃないかなという思いもちょっとある。

○委員

これ、出てきた理由は施設が古いからっていう事なんですか。施設って言うか中身。要は機械類がそろそろ持たないからって言うんで出てきたのかなと。

○委員

それなりに更新してるようだから、機械類は心配ないと思いますよ。

○事務局

不具合があればその都度修理したり更新したりしますので、もちろん施設自体が老朽化しているというのもあるんですけど。もうちょっと大きな事情で、合併した時に合併協定書の中で給食センターの施設については現状のまま新町に引き継ぐが、当面は2箇所のままで、但し施設の老朽化で統合するのが望ましいので統合を検討するというような協定書の中で、合併後15年が経過する事から協定について、1度は話し合わなければならぬというのもあるんですけど。この件について再度15年が経った今、もう一度やはり検討する必要があるんではないかという事で、今回こういった形で進めさせていただくということになりますね。

○委員長

今、△△さんが仰ったように、当分このままでという事をいってたんですけど、それはまあ噴火がはっきり分からない、もしかしたら10年、15年なるかも分からない。その中で施設がそれでもって大丈夫なのかというところもあると思うんですけど。

○事務局

たしかにそうですよね。噴火は本当にいつ起きるか分からない状況です。じゃあ給食センター、今本当にやらなければいけないのかというのになってくるかと思うんですけど。本当に子ども達も減っている中で2つを維持するという事はかなりの厳しいところがあるんです。まずそこをひとつご理解いただきたいなという風には思います。災害の時は勿論想定されるので、△△さんが仰ったとおり、子どもの今後の人数も減少傾向にあるような事から、もう少し様子を見た方がいいんじゃないかというご意見もよく分かる範囲ではあるんですけど、やはり洞爺湖町の現状を見た時に、やはり今後この事については避けて通れない大きな課題でもあるかと。そんな事から今回いろんな様々などから報告を行っているというところでございます。また更にはこの件に関して議会議員の中からも、やはり検討すべきではないかというご意見もいただいております事から、今回そういった形での計画に沿ってさせていただいているという事でございます。

○委員

そうすればその費用が一番だと、要は費用を削減したいと。ていう事が一番最初に理由にあがる事と。

○事務局

勿論それも大事なところではありますけれども、先程お話しました通り合併協定書の中でもやはりこの2つある施設の有り方について、検討していかなきゃならないという事で課題として挙げられておりましたので、そういう事で提供させていただいたところでございます。

○委員

親御さん達、何て言います？要は検討委員会の情報が不足していると、という事を回答として何て知らしめます？

○事務局

情報の提供につきましては先程前段の中でまず傍聴の件についてご承認をいただいたところであります。それから2つめに会議の要点をまとめたものをホームページ等で公開をするという事でご承認をいただいたという認識しております。

○委員

それで疑問、親御さん達は納得するんでしょうか。

○事務局

それで、また終わった後にこういった機会を設けていただければという話も出てましたので、それは必要に応じて私どもとしては出席をさせていただいて、意見交換会なりをさせていただければと思っているんですけど。いずれにしてもやはり検討委員会で今、私ども提案をさせていただいていて提言を求めている状況である事から、検討委員会のご意見を伺ったうえで慎重に進めていきたいという風には思ってございます。

それと私のほうからなんんですけど、やはり保護者の皆さんとしては、安心安全な給食を一番ご心配されているんじゃないかと思っております。先程のお話の中でもありましたけれども、それぞれの給食をですね、食べていただく、所謂試食をしていただくというのも1つの方法かなという風に思っておりますので、もしこの検討委員会の中でそういう事が必要であると言うのであれば、そういう場を設ける事も考えていきたいとは思っている。

○委員

美味しさはそれぞれ充分にあると思います。ただ、さっき△△さんが言われたようにナイフだとかフォークだとか或いはイベント的なものをやれるかやれないか、やれないという事なんですか、もし1つになった場合には。そういう部分は何とかできればそれは。味、美味さなんていうのはどうなんだろう、そこまで。親達が一度食べてみたいというならそれは。

○委員長

僕は違いがわかる絶対、我々が話をしなきゃならないんで逆に言うと、美味しい

給食だよ、いいかい？となった時にどうするんですか。僕は両方美味しいと思ってるんですけど。1人1人ご意見、△△さんどうですか。

○委員

私も△△さんと一緒に、試食までしなくてもいいと思っています。むしろPTAの会長をしている方々に。確か僕がPTAで参加してた頃、父兄参観で試食会というのもあったと。ちょっと、その地域、地域であり方としては違うと思いますけど。

○委員

イメージとしては、やってないんですか？今コロナだからできないだけじゃないの？

○委員

参観日、コロナ前までは参観日の時に。どうしてもこういう状況なので、余計、今の現状の給食を知らない保護者がそういう、この間の会議で発言してるという部分もある。通常通り試食会をしてては、こういう給食てるんだねとなって学校へ行って、結構洞爺って授業とか参加する率が高くてPTAの人とかやって一緒に料理作って食べたりとか、そういう行事が一切なくなってるんで全然情報が得られない。だからこういう状況っていうのはあるかもしれない。

○委員長

△△さんどうですか。

○委員

私たちが食べるより親御さん方、PTAの人達が食べないと意味がないかと。△△さんからさっき仰ってたように、そういう建物を作る前と後でソフトの面は建てた後で、改築した後からでもいくらでも進められると思う。それは美味しい食べ物とか、PTAの方々に食べていただいて検討を重ねるという事で落ち着くんじゃないかと。

○委員長

△△さんどうですか

○委員

子ども達にも僕は洞爺の給食センターの方の食べ比べをしていいのかなと。せっかく2つあるならそういう機会があつてもいいのかな。洞爺湖温泉小学校、虻田給食センターと洞爺方面の入れ替えができるれば。

○委員長

今週は洞爺、来週は虻田提供、それは可能なんですか物理的に。

○事務局

洞爺給食センターは、現在、虻田の食数を作るだけの能力がないので、無理です。

○委員長

この間の会議を見る限り僕が思うのは、いいところっていうのは具来的に洞爺のいいところ、聞いてみて初めて分かる事もあるし、虻田の意見は全然聞いてないんだよね、虻田にもいいところはいっぱいあると思うんですよね。いいところを共有で、食べたり

しないと駄目なのかなと。どうですか？

○委員

試食について言えば、私たちが試食しても仕方ないのかなって言うのが正直あるんですけど。実際どれ程違うのかっていうところが、味って結構、人によって好みがあつたりとかそういうのがあるので一概にどっちが美味しいとか美味しいとか判断するのは難しいと思うんですけど。正直どちらも食べた事がないので、どれ程の差があるのかというところが分からないので何とも言えないが、勿論その差をなくしていくというか良い方を残し、ものを作っていくのは大事な事なんですけど、今の段階で内容的なところを話しても仕方ないのかなと。やっぱり先程あったようにハード的なところを決まってから、じゃあその内容はどういう風にしていくのでという事でお互い了解していくというような話し合いをしていく方が建設的なのかなと。とりあえずは、まず合併するのか新築するのかというところをある程度決まってからその内容を。その保護者の不安というのがあるんであればそこを丁寧にやっていくしかないのかなと。

○委員

一般教員時代に、洞爺の小学校にいたので洞爺の給食を食べているんです。今、虻田小学校で、両方食べている。当然どっちもいいです。洞爺の方のテーブルマナーとか体験給食とか取り組みがあったりして、子どもの食育という観点ではすごく面白いなという風に思っておりましたし、今、虻田に来て私前任は登別だったんですけど、教育委員会にいたので行政的な視点で言うと、すごく非効率的だと思うんですよね。2施設抱えてるっていうのは。

それで、仮にどこか1ヶ所になったとしても私はそれぞれの良さを残していくべきだし当然そうなる筈なんです。教員でいろいろ市町渡り歩いてるんで、それぞれの給食とか食べてきてるんで、そこの良さとか課題が何となく思ってるんですけど。私は登別にいた時は調理の一部を委託していたので、その分おかげとかにウエイトがかけられず、量とかもあまり多く出来なかったです。施設も老朽化してたんで施設を建て替えるとかバタバタしている時に自分はいたので、すごくそこら辺の辛さも分かる。なので、それを考えると虻田に来て給食を食べたら本当に美味しいし量も沢山あるし何だこれはとすごく幸せな。なので、それぞれの、元は別々の自治体だった訳ですからそれぞれの文化があるし特色がある訳だから、今こうやって合併して次のステージに進むという事は当然取捨選択しなきやならない。でもその時に例えば虻田地区に建てたから残したからといって虻田地区だけのものになるわけではないし、洞爺地区に残したからといって洞爺地区のものだけが残るという事にはならないんだと思いますよね。だからその食材の確保とかの事だったり、例えば洞爺地区で特色ある食育だったり、それだって虻田の方に融合していく事に当然なっていくでしょうから、それぞれの良さを生かす、さっきの9番のところ、僕もこれ一番現実的かなと思うんです。

ハードとソフトは分けて考えた方がいいと思うんですけど、分けて考えられない部分

がやっぱりあるので、箱物をまず決めてからやるのがいいのかなと個人的には思うんですけど。そうなった時、文化とかそういう実際どうするっていう辺りは当然いろんな人達で議論をして作っていかなくちゃならないのかと。ですからどっちか一方になったからといってそのものだけが残るという事は無い訳だから、それはやっぱり保護者の方達にも伝えていくような機会を作る事が大事かなと。

○委員

皆さんの意見をいろいろ聞かせてもらったんですけど、個人的な意見を言わせてもらいますと、洞爺は洞爺で残してほしいし虻田は虻田で継続してやってほしい。理由としては、自分の育てている子ども達がいるんですけど、年に冬、吹雪いたり通行止めになったり先生から迎えに来いと言われても、危なくて行けないなというくらいの日があるんです。何年か前にスクールバスが止まってショベルカーで先導して走ってうちまで来たというのがあるし、そういう事を考えると、もし洞爺の給食センターが残っていれば何かあっても学校に泊まったりとかして給食が食べられたりとか、今、有珠山噴火とかもありましたけど、やっぱり近々絶対起こる事で、その時もし虻田と洞爺とバラしてたら洞爺は洞爺ができるように、虻田は虻田ができるようになっていれば援助もしやすいのではないかという事から、自分の個人的な意見は、洞爺は洞爺で継続してほしいし、虻田は虻田で修繕して何とか維持していくってほしいなあというのが個人的な考えです。

○委員長

次回の話をしなきゃならないと思うんですけど、果たしてそのままというのもとても分かるんですけど、現実を見た中でどうなんでしょうと僕は思うんですが。

○委員

第1回の会議の6ページに検討の内容を、町税等の歳入の大幅な減少が危惧されることから、事業費の軽減を念頭に据えて各案の検討を等々書いてあるので、今一度この検討内容を整理して、この会ではこういう事をやっていくとはっきりさせて。

○委員長

目的をもう一度明示すると。

○委員

その中で、じゃあその後の美味しい給食を継続とか地場産品というのとかをここで話し合うのがいいのか、別の組織を作るのか。当初このメンバーが選ばれたという経緯っていうのをもう一度ちょっと明確にした方がいいのかと。

○委員長

今のお話を総合すると、もう一度判断基準を明確にしたうえで改築、改築というか統合か新築かを決めるという方向という事になるかと思うんですけれど。要するに1つにする事をどう判断していくかという。

○委員

当初、第1回目の会議で説明されたのはそういう概要だったと思う。それで会議をや

っているという情報が流れ、洞爺のセンターがなくなるんじゃないかという流れで全体的な取り組みの考え方を。私もPTA会長という立場でこの会議が終わって保護者に説明する時に、どこまで今検討していくのかというのが見えていない部分があるので。

○委員長

それではソフト面、中身については最大限いいところを残すという、これは皆さんで共有するうえで中身をどうするかっていうのは今話はしないで、給食センターを1つにするには何を判断にどう決めていった方がいいのかという基準を示してもらいながら、10月にもう一度話をしようというような事でいってはどうかなと思うんですけど。それぞれの思いはあると思います。分かります。自分も閉校をやってきた身なので、ここでこれが無くなるのかと思うような思いは勿論あるけれども、町民全体の事を考えたうえで、血税ですからね。そういう意味も考えながらやっていくとしたら1つだろうという前提で次の会議、私たちとしてこういう基準で、こう結果として判断しましたと。で、最終決定は教育委員会に繋げるというような私達の意見の纏めを方向性を皆さんに。こういった事で終わりたいと思います。

○事務局

ありがとうございます。次回は今委員長の方からお話をありましたけども、どのような判断でといった方向性を出した上で議論していただきたいと思います。1ヶ月置きまして、10月下旬頃に予定をしたいと思いますので、また今回のように会議資料を事前配布させていただいて出席をお願いしたいと思います。

○委員

最初の傍聴の件、傍聴で委員長が10名に制限するという事になってますけど、時間が書いてないんです。例えば始まってからも随時10名になるまで入れるのか。或いは始まったら入れないのか。そういう事を書いてないので確認したい。

○委員長

事前に申請書を出すので始まった時の人数しか入れないのかと思ってたんですが、それはどう対応したら。

○委員

時間通りに来ていない人は入れなくていいのではないか。名前を書いて投函して人数が多かったら先着順。

○委員長

確認ですが、始まった時点で希望無ければ。希望で決めると。オーバーしたら先着順でという事で。よろしいですか。

○委員

傍聴人は受付しているんですか。

○事務局

職員が受付けにいまして、名簿ではなく、傍聴人受付票に書いていただいて、投函す

るというやり方にしています。

○事務局

受付に、この傍聴人申し込みの箱を置いていますので、そこに本人に投函していただいて入場していただく。先着順です。

○委員

早めに何月何日何時から何処でとしないと。ホームページには出ていたけれど。そうしないと。知らなかつたと言われて何か言われると。

○委員長

その辺、広報は1ヶ月に1回なので。新聞折込みも何だから、ホームページくらいしかないんだよね。

○事務局

広報に間に合えばいいんですけど。まずタイミングが合わない。

○委員長

二度繰り返しません。そういう事で次回進めたいと思いますので、よろしくお願ひします。

本日はお疲れ様でした。

午後8時20分終了

